



# 2010年3月期第2四半期決算説明資料

ラックホールディングス株式会社

2009年11月11日


JASDAQ(証券コード:3857)

<http://www.lachd.co.jp/>

**1. 2010年3月期第2四半期 決算概要**

**2. 2010年3月期 業績予想**

**3. 2010年3月期 経営施策**



# 1. 2010年3月期第2四半期 決算概要

# 連結決算ハイライト

## ● 前年同期比

(百万円)

	'09年3月期	'10年3月期	前年同期比	
	第2四半期	第2四半期	増減額	増減率%
売上高	11,033	14,665	+3,632	+32.9
営業利益	△78	△94	△15	—
営業利益率%	△0.7	△0.6	+0.1p	—
経常利益	△130	△249	△119	—
四半期純利益	△243	△458	△215	—
EBITDA	318	492	+174	+54.8
一株当たり四半期純利益(EPS)	△9円25銭	△17円69銭	△8円44銭	—
一株当たりキャッシュ・フロー(CFPS)	5円79銭	4円94銭	△85銭	△14.8
一株当たり純資産(BPS)	197円74銭	185円84銭	△11円90銭	△6.0
一株当たり配当金[第2四半期末]	6円	4円	△2円	△33.3

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

一株当たりキャッシュ・フロー(CFPS) : (四半期純利益 + 減価償却費 + のれん償却額) / 期中平均株式数

# 連結決算ポイント

- **売上高：大幅な増収になるものの、受注が伸び悩む**

- ・ お客様のIT投資の抑制や延期による影響を受け、各事業とも受注が伸び悩む
- ・ SIS事業、SSS事業ともに減収になるも、ディーラー事業が寄与し、32.9%の増収となる

- **利益面：前年同期比で営業損失は若干拡大するも、営業利益率はやや改善する**

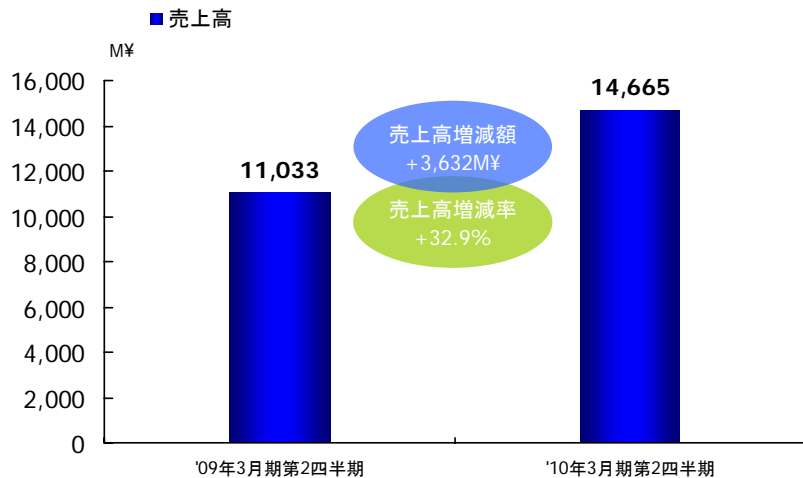
- ・ 受注の伸び悩みから稼働率の低下、お客様からの価格低減要請もあり、売上総利益率は低下する
- ・ のれん償却額や業容拡大に伴い経費が増加するも、グループ全体の経費低減に努め売上高販管費率を低下させ、利益改善を図る

- **EBITDA：着実に増加する**

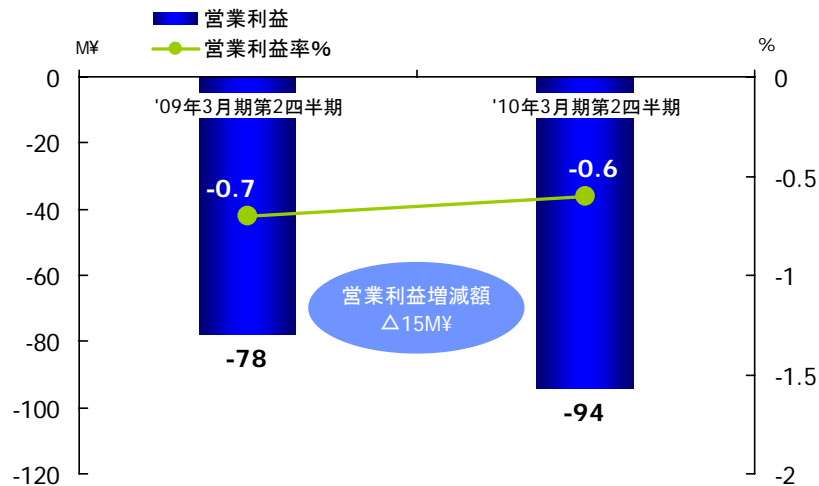
# 連結決算ハイライト

## ● 前年同期比

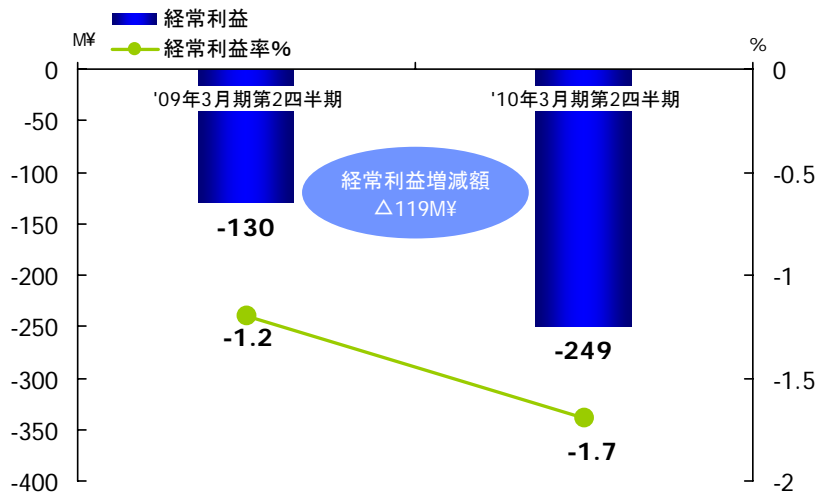
### 売上高



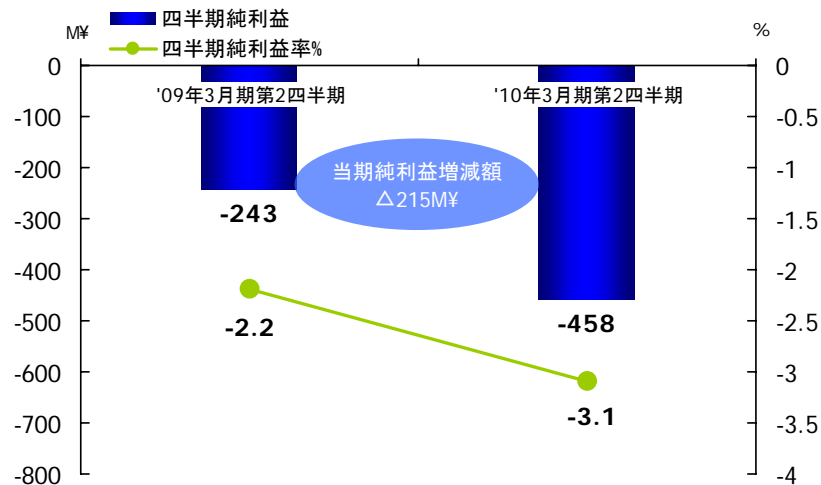
### 営業利益



### 経常利益

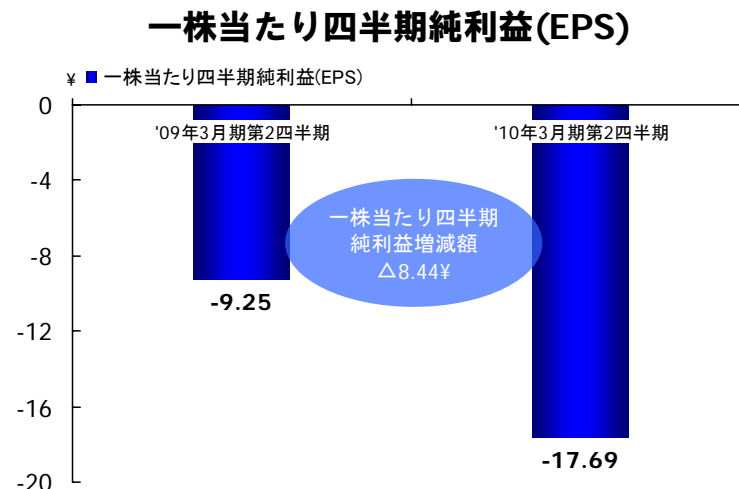
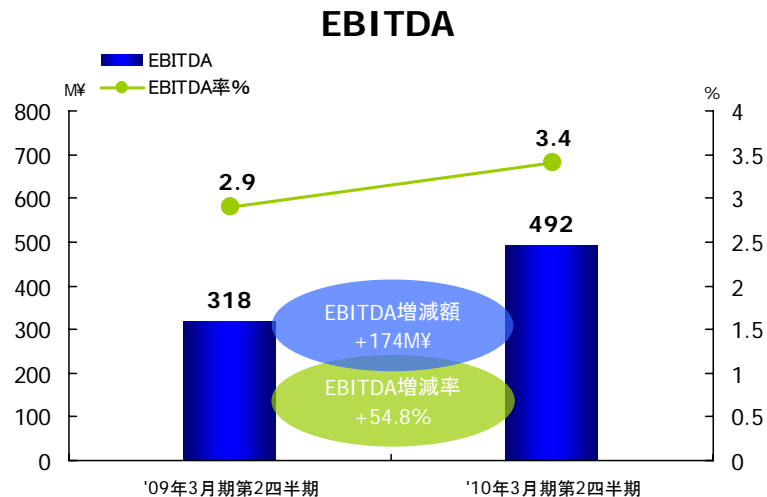


### 四半期純利益

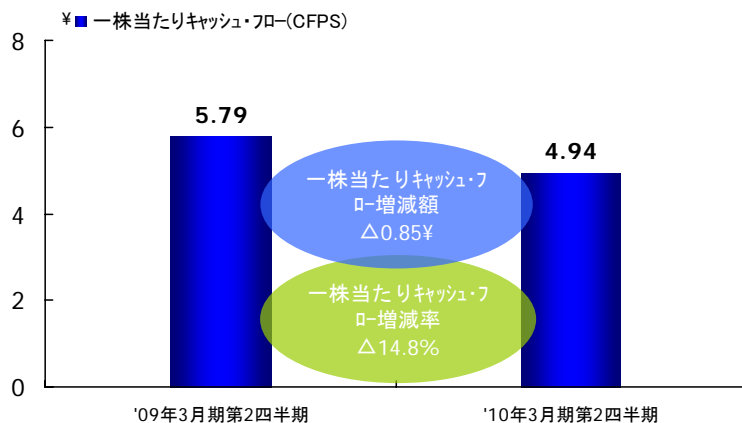


# 連結決算ハイライト

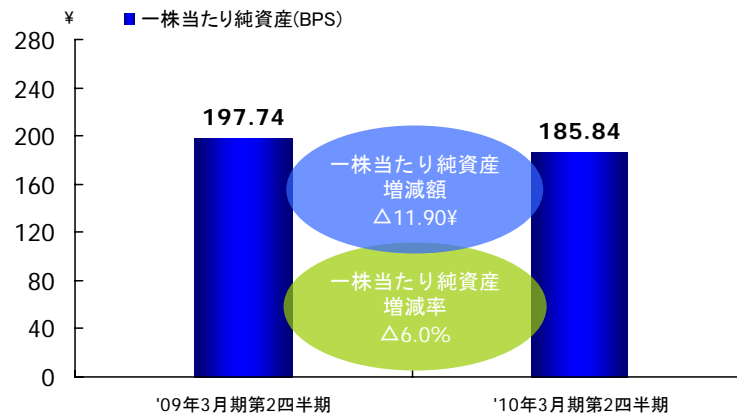
## ● 前年同期比



### 一株当たりキャッシュ・フロー(CFPS)



### 一株当たり純資産(BPS)



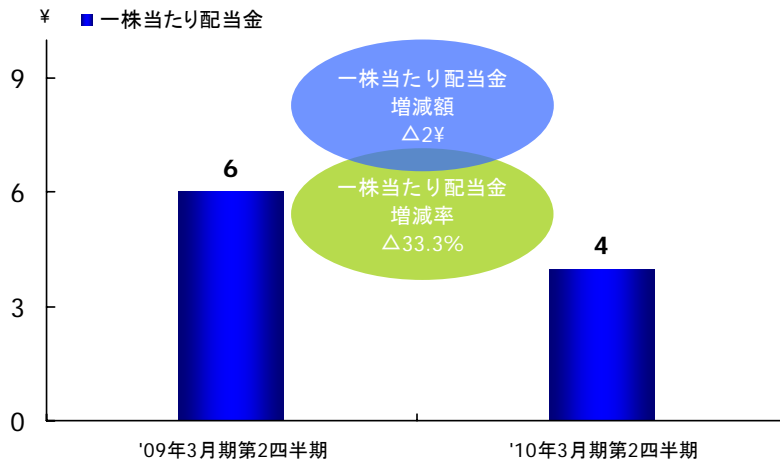
EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

一株当たりキャッシュ・フロー(CFPS) : (四半期純利益 + 減価償却費 + のれん償却額) / 期中平均株式数

# 連結決算ハイライト

## ● 前年同期比

### 一株当たり配当金 [第2四半期末]





# 事業別売上高ハイライト



## ● 前年同期比

(百万円)

売上高	'09年3月期		'10年3月期		前年同期比	
	第2四半期	構成比%	第2四半期	構成比%	増減額	増減率%
システムインテグレーション サービス(SIS)事業	6,542	59.3	5,551	37.9	△990	△15.1
開発サービス	6,037	54.7	5,172	35.3	△865	△14.3
ソリューションサービス	204	1.9	145	1.0	△59	△29.0
関連商品	300	2.7	234	1.6	△66	△22.2
セキュリティソリューション サービス(SSS)事業	2,149	19.5	2,017	13.8	△132	△6.2
コンサルティングサービス	580	5.3	593	4.0	+13	+2.2
構築サービス	49	0.5	64	0.4	+14	+28.7
運用監視サービス	1,017	9.2	970	6.6	△46	△4.6
関連商品	502	4.6	389	2.7	△113	△22.6
ディーラー事業*	2,340	21.2	7,096	48.4	+4,755	+203.2
HW/SW販売	729	6.6	2,797	19.1	+2,067	+283.2
SEサービス	513	4.7	1,261	8.6	+747	+145.8
保守サービス	1,097	9.9	3,038	20.7	+1,940	+176.8
<b>合計</b>	<b>11,033</b>	<b>100.0</b>	<b>14,665</b>	<b>100.0</b>	<b>+3,632</b>	<b>+32.9</b>

※ ディーラー事業の前年同期実績は2ヶ月間の数値です。

# 事業別営業利益・EBITDAハイライト



## ● 前年同期比

(百万円)

営業利益	'09年3月期	'10年3月期	前年同期比	
	第2四半期	第2四半期	増減額	増減率%
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	572	533	△39	△6.9
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	80	147	+66	+83.1
ディーラー事業 ※	△162	△65	+97	—
消去又は全社	△569	△710	△140	—
連結	△78	△94	△15	—

## ● 前年同期比

EBITDA	'09年3月期	'10年3月期	前年同期比	
	第2四半期	第2四半期	増減額	増減率%
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	762	725	△37	△4.9
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	125	196	+71	+56.8
ディーラー事業 ※	△71	227	+298	—
消去又は全社	△498	△656	△158	—
連結	318	492	+174	+54.8

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

※ ディーラー事業の前年同期実績は2ヶ月間の数値です。

# 事業別業績ポイント

## ● SIS事業

大幅な減収となるも、営業利益は小幅減益

- ・ 開発サービスの売上が減少するも、プロジェクト品質管理の強化や内製化推進により外注費抑制と稼働率の向上に注力し、営業利益は小幅な減益となる

## ● SSS事業

やや減収となるも、営業利益は増益

- ・ 運用監視サービスの診断サービスが競争激化で受注が減少し、小幅減収に
- ・ 間接要員数の適正化や経費削減に努め、営業利益は増益となる

## ● デイラー事業

6ヶ月間の計上（前年同期は2ヶ月間）で大幅な増収となるも、受注が伸び悩む  
営業損失は縮小、EBITDAは増益

- ・ HW/SW販売が主要お客様である金融機関のIT投資の抑制により、伸び悩む
- ・ 原価低減、経費削減に注力し、営業損失は減少する

# 連結貸借対照表ハイライト

## ● 前期末比較

(百万円)

	'09年3月 期末	'10年3月期 第2四半期	増減額		'09年3月 期末	'10年3月期 第2四半期	増減額
流動資産	11,534	10,515	△1,019	流動負債	10,258	9,641	△617
現金及び預金	2,462	2,510	47	買掛金	2,641	1,964	△677
受取手形及び売掛金	5,939	3,416	△2,522	短期借入金	3,140	3,087	△52
たな卸資産	575	1,193	618	1年内長期借入	780	880	100
前払費用	1,448	2,537	1,089	1年内償還社債	1,233	283	△950
未収入金	627	53	△573	未払法人税等	212	64	△148
繰延税金資産	452	437	△14	前受収益	1,085	2,564	1,479
その他	28	365	336	その他	1,164	796	△368
固定資産	10,643	10,597	△45	固定負債	6,370	6,709	339
有形固定資産	1,094	1,018	△76	社債	268	601	333
無形固定資産	5,612	5,228	△383	長期借入金	6,025	6,035	10
のれん	5,064	4,688	△376	その他	77	73	△3
ソフトウェア	540	533	△6	負債合計	16,628	16,350	△277
その他	7	7	△0	純資産合計	5,548	4,762	△786
投資その他の資産	3,936	4,350	413	資本金	1,000	1,000	-
投資有価証券	881	754	△126	自己株式	△111	△298	△186
繰延税金資産	1,902	1,905	2	有価証券評価差額金	△150	△213	△62
その他	1,152	1,691	538	その他	4,811	4,274	△536
資産合計	22,177	21,112	△1,064	負債・純資産合計	22,177	21,112	△1,064

自己資本比率：22.5% ， 総資産回転率：0.7回 ， ROE：△8.9% ， ROA：△1.2%

# 連結貸借対照表ポイント

## ● 資産

- ・ 前払費用等の増加があった一方で、売掛金の回収、のれんの償却等により、前期末比1,064百万円減の21,112百万円となる

## ● 負債

- ・ 前受収益等の増加があった一方で、買掛金、社債が減少したこと等により、前期末比277百万円減の16,350百万円となる

## ● 純資産

- ・ 自己株式の取得および四半期純損失による利益剰余金の減少等により、前期末比786百万円減の4,762百万円となる

# 連結損益計算書ハイライト



## ● 前年同期比

(百万円)

	'09年3月期	'10年3月期	前期比	
	第2四半期	第2四半期	増減額	増減率%
売上高	11,033	14,665	+3,632	+32.9
売上原価	8,429	11,736	+3,306	+39.2
売上総利益	2,603	2,929	+325	+12.5
売上総利益率%	23.6	20.0	Δ3.6p	—
販管費	2,682	3,024	+341	+12.7
売上高販管费率%	24.3	20.6	Δ3.7p	—
営業利益	Δ78	Δ94	Δ15	—
営業利益率%	Δ0.7	Δ0.6	+0.1p	—
営業外損益	Δ51	Δ155	Δ103	—
経常利益	Δ130	Δ249	Δ119	—

# 連結損益計算書ハイライト（続き）



## ● 前年同期比

（百万円）

	'09年3月期	'10年3月期	前期比	
	第2四半期	第2四半期	増減額	増減率%
<b>経常利益</b>	△130	△249	△119	—
特別利益	5	0	△4	△85.6
特別損失	12	94	+82	+668.6
法人税等	106	117	+11	+10.4
<b>四半期純利益</b>	△243	△458	△215	—

# 連結損益計算書ポイント

## ● 売上高

- SIS事業、SSS事業とも減収となるも、ディーラー事業の売上高7,096百万円が寄与し、売上高は14,665百万円（前年同期比3,632百万円増）となる
- お客様のIT投資の抑制や延期による影響を受け、各事業とも受注が伸び悩む

## ● 営業利益

- 売上総利益はディーラー事業が加わり、325百万円増加するも、受注の伸び悩みから稼働率が低下、またお客様からの価格低減要請もあり、売上総利益率が3.6ポイント低下。のれん償却額や業容拡大に伴う経費増など販管費が341百万円増加するも、グループ全体の経費削減に努め、売上高販管費率を3.7%低下させ利益改善を図り、営業損失94百万円（前年同期は営業損失78百万円）となる

## ● 経常損益

- ディーラー事業継承に伴う借入金の支払利息の増加や、優先株式発行に向けたデュレジエンス、コミットメントライン契約切り替えなど下期における計画経費の前倒し発生により、経常損失249百万円（前年同期は経常損失130百万円）となる



# 連結キャッシュ・フロー計算書ハイライト



## ● 前年同期比

(百万円)

	'09年3月期	'10年3月期
	第2四半期	第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	674	1,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,375	△718
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,404	△999
フリーキャッシュ・フロー	△7,700	1,046
現金および現金同等物の増減額	699	47
現金および現金同等物期首残高	2,723	2,462
現金および現金同等物四半期末残高	3,422	2,510
自己資本比率%	22.3	22.5
時価ベースの自己資本比率%	28.8	25.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率%	910.0	308.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	12.9	17.6

自己資本比率：自己資本/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

# 連結キャッシュ・フロー計算書ポイント



## ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

- 税金等調整前四半期純損失を計上したものの、のれん償却額の増加、売上債権の回収等による運転資本の減少などにより、1,765百万円の資金流入となる

## ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

- 来年度に予定するグループ各社の同一オフィスビルへの集約・移転のための敷金差入などにより、718百万円の資金流出となる

## ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

- 社債の償還、自己株式の取得による支出などにより、999百万円の資金流出となる



## 2. 2010年3月期 業績予想

# 連結業績予想

(百万円)

	'09年3月期	'10年3月期	前期比	
	実績	予想 (8/7)	増減額	増減率%
売上高	32,538	38,300	+5,762	+17.7
営業利益	905	1,090	+185	+20.4
営業利益率%	2.8	2.8	+0.0p	—
経常利益	706	800	+94	+13.3
当期純利益	240	403	+163	+67.9
EBITDA	1,909	2,278	+369	+19.3
一株当たり当期純利益(EPS)	9円12銭	15円31銭	+6円19銭	+67.9
一株当たりキャッシュ・フロー(CFPS)	47円21銭	61円73銭	+14.52銭	+30.8
一株当たり純資産(BPS)	210円46銭	225円74銭	+15円28銭	+7.3
一株当たり配当金	9円	10円	+1円	+11.1

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

一株当たりキャッシュ・フロー(CFPS) : (当期純利益 + 減価償却費 + のれん償却額) / 期中平均株式数

# 事業別売上高予想

(百万円)

売上高	'09年3月期	'10年3月期	前期比	
	実績	予想(8/7)	増減額	増減率%
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	14,032	12,108	△1,924	△13.7
開発サービス	12,831	10,895	△1,936	△15.1
ソリューションサービス	415	511	+96	+23.1
関連商品	785	702	△83	△10.6
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	4,983	4,692	△291	△5.8
コンサルティングサービス	1,406	1,269	△137	△9.7
構築サービス	129	161	+32	+24.8
運用監視サービス	2,222	2,409	+187	+8.4
関連商品	1,224	853	△371	△30.3
ディーラー事業※	13,522	21,500	+7,978	+59.0
HW/SW販売	7,275	12,435	+5,160	+70.9
SEサービス	1,884	2,915	+1,031	+54.7
保守サービス	4,362	6,150	+1,788	+41.0
合計	32,538	38,300	+5,762	+17.7

※ ディーラー事業の前期実績は8ヶ月間の数値です。

# 事業別営業利益・EBITDA予想

(百万円)

営業利益	'09年3月期	'10年3月期	前期比	
	実績	予想(8/7)	増減額	増減率%
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	1,173	1,239	+66	+5.6
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	659	809	+150	+22.8
ディーラー事業※	230	574	+344	+149.6
消去又は全社	△1,157	△1,532	△375	—
連結	905	1,090	+185	+20.4

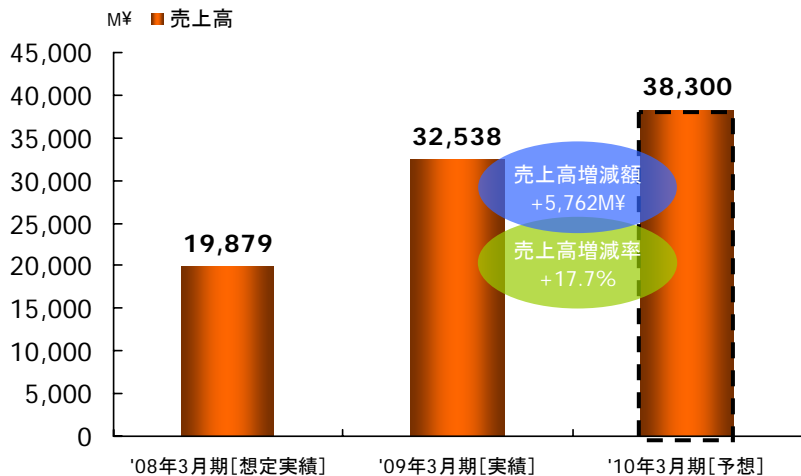
EBITDA	'09年3月期	'10年3月期	前期比	
	実績	予想(8/7)	増減額	増減率%
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	1,557	1,643	+86	+5.5
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	758	926	+168	+22.2
ディーラー事業※	613	1,146	+533	+86.9
消去又は全社	△1,019	△1,437	△418	—
連結	1,909	2,278	+369	+19.3

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

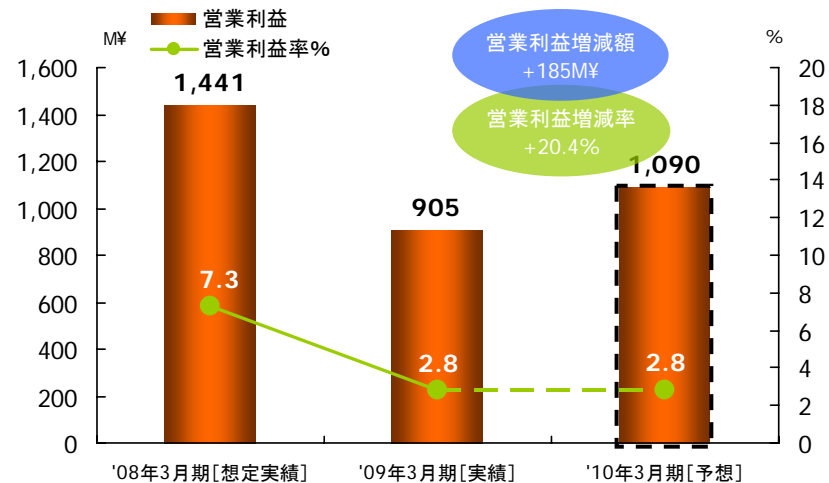
※ ディーラー事業の前期実績は8ヶ月間の数値です。

# 連結業績予想

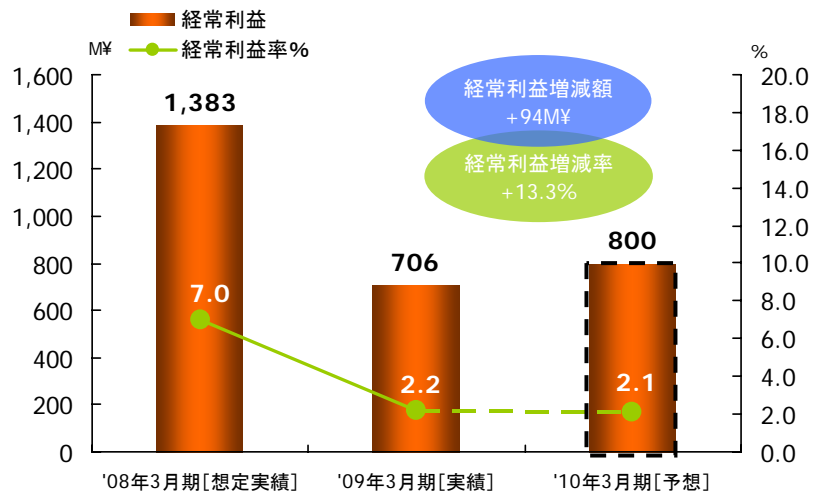
## 売上高



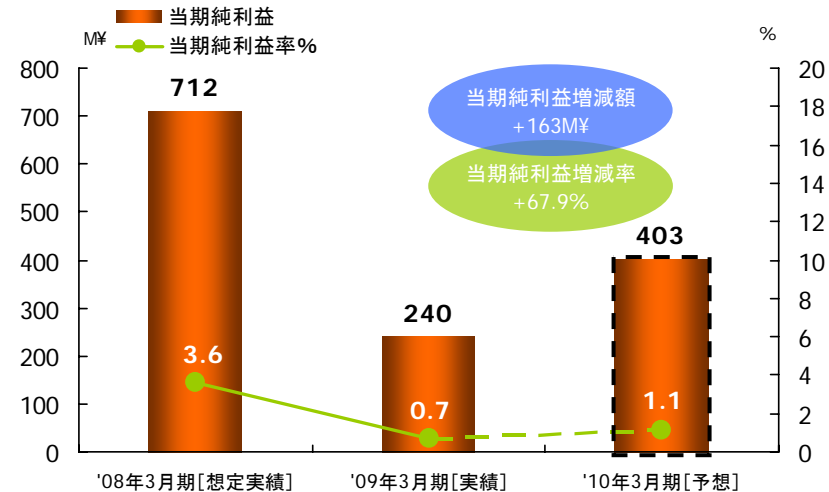
## 営業利益



## 経常利益

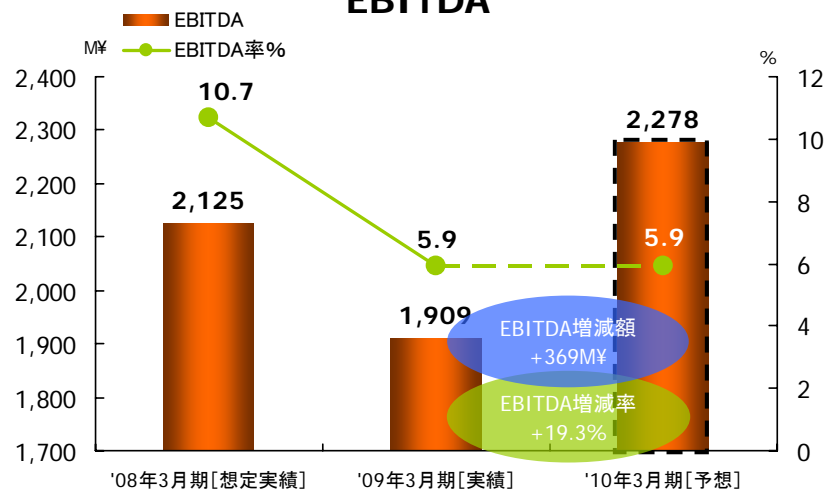


## 当期純利益

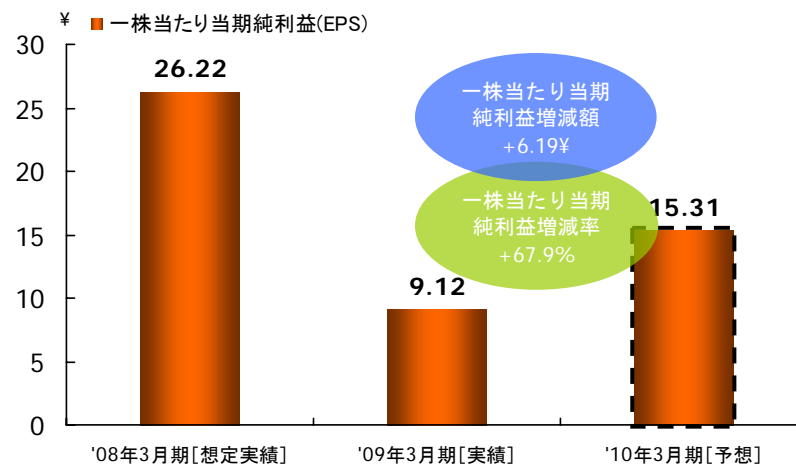


# 連結業績予想

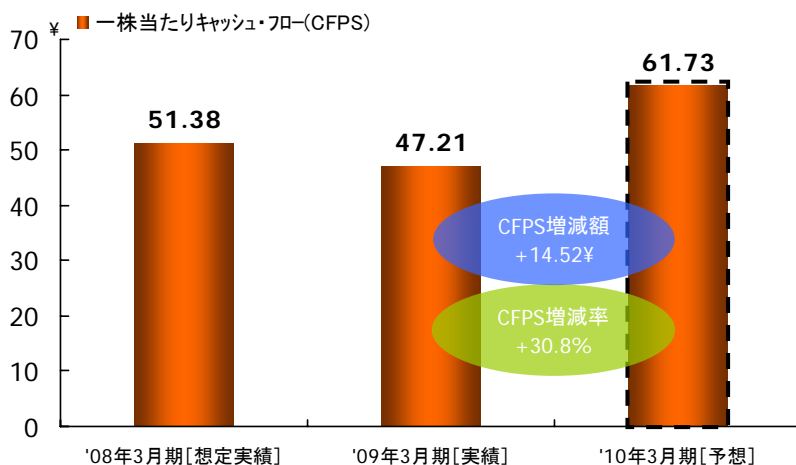
## EBITDA



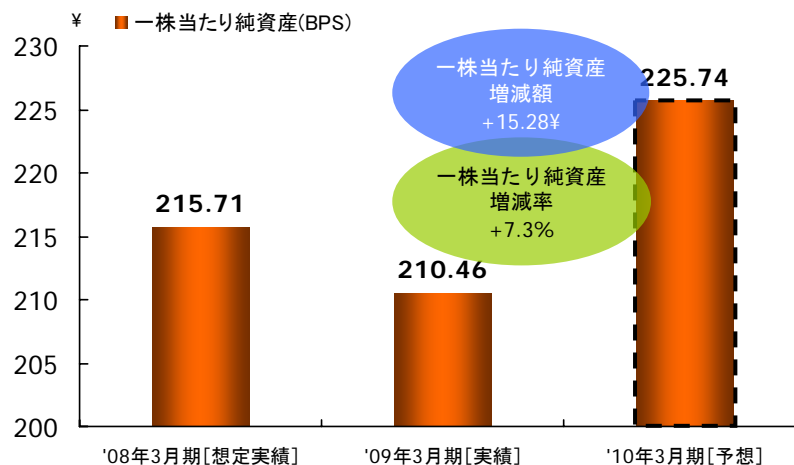
## 一株当たり当期純利益(EPS)



## 一株当たりキャッシュ・フロー(CFPS)



## 一株当たり純資産(BPS)



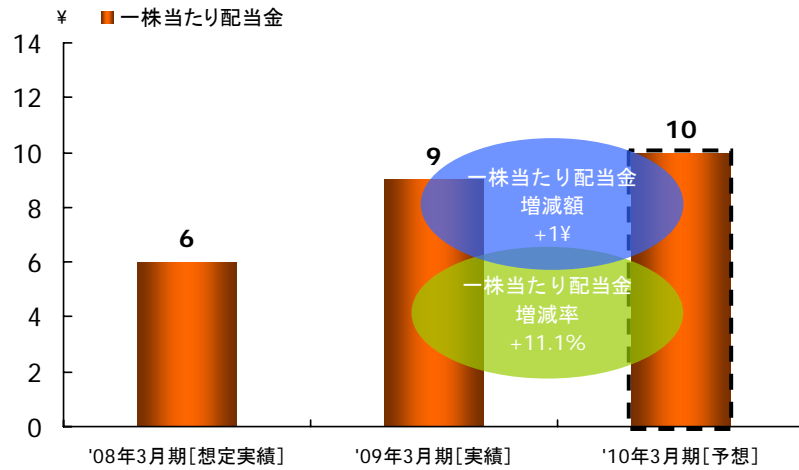
EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

一株当たりキャッシュ・フロー(CFPS) : (当期純利益 + 減価償却費 + のれん償却額) / 期中平均株式数



# 連結業績予想

## 一株当たり配当金





### **3. 2010年3月期 経営施策**

# 経営施策 -2010年3月期-



## 経営基盤 の強化

- 業務の合理化によるコスト低減など、効率的経営の推進
- 多角的な資金調達により財務基盤の強化



## ポートフォリオ の強化

- 各事業領域への経営資源配分の最適化
- グループ総合力によるお客様との関係維持強化ならびにお客様の開拓



## 付加価値と 生産性の向上

- お客様のIT予算の最適化に向けた提案活動の推進
- プロジェクト管理における品質管理体制の強化



## グローバル 展開

- Wistron ITSとの事業提携によるグローバルリソースの有効活用
- 中国における海外進出現地法人向けサービスの展開
- 韓国現地法人（CSLAC）による情報セキュリティビジネスの推進



## 人材の育成

- 人材の多様性と自己啓発意欲を尊重した教育の実施
- 次代に合った技術力、経営力および人間力の強化



# 経営施策[実施項目]-2010年3月期第2四半期-



## 経営基盤 の強化

- 財務基盤の拡充と長期運転資金の確保を目的に優先株式発行を決議
- 業務変革室を新設し、グループ全体にわたる業務の合理化を推進
- グループ事業会社、本社機構を同一のオフィスビルに集約を決議



## ポートフォリオ の強化

- 事業統括本部を新設し、グループ総合力によるお客様との関係維持・強化ならびにお客様の開拓に注力



## 付加価値と 生産性の向上

- プロジェクト検定制度を強化し、提案内容の精査、潜在リスクの洗い出し、および進捗管理の厳格化



## グローバル 展開

- KDDI中国（上海）との協業
- Wistron ITS社（台湾）協業推進
- オフショアプロジェクトの生産性向上に向け、オフショアサービスデスクの設置



## 人材の育成

- 経営者の育成に向け、リーダー研修の充実
- 業績連動型年俸制度の全社員適用による経営目標の共有化





**IRお問い合わせ窓口：経営戦略室 広報部**

**Tel; 03-5537-1406**

**Fax; 03-5537-1405**

**E-Mail; [lac-ir@lachd.co.jp](mailto:lac-ir@lachd.co.jp)**